

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
ベルフォート美容専門学校		平成15年3月6日		長尾 拓朗		〒500-8856 岐阜市橋本町1丁目10-1 (電話) 058-267-4671																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人まこと学園		平成15年3月6日		川口 隆弘		〒500-8856 岐阜市橋本町1丁目10-1 (電話) 058-267-4671																							
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																					
衛生		衛生専門課程		美容科		平成17年3月3日 文部科学省告示		-																					
学科の目的		美容に携わる人材としての必要な知識及び技能の習得、人格の形成を前提とし、美容師試験の受験資格を与えるとともに社会人としての近代的な感覚を会得させ社会に貢献すること																											
認定年月日		平成15年3月6日																											
修業年限		昼夜		全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習		実験		実技															
2年		昼間		2010時間		780時間		0時間		1230時間		0時間		0時間															
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		単位時間																	
160人		151人		0人		9人		10人		19人																			
学期制度		■1学期:4月1日～8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験、平素の学習状況及び出席状況を勘案																					
長期休み		■学年始:4月1日～4月6日 ■夏 季:8月8日～8月17日 ■冬 季:12月26日～1月4日 ■学年末:3月20日～3月31日				卒業・進級 条件		卒業の認定は成績評価(すべての科目に合格していること)及び出席状況にて行う。 ◎合格に満たない科目がある場合はレポートをもって合格とすることがある。 ◎進級時に単位認定金額にて進級を認定し、11月(国家試験受験票提出時)までには卒業見込認定金額、2月末に卒業認定金額を校長、副校長、全教員出席のもと行っている。 ◎成績評価(全科目合格またはレポートが全部提出されていること)及び出席状況(欠課時間はすべて補填が終了していること)を基に、卒業見込、卒業の認定基準としている。																					
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学期毎に担任による個人面談、学業不振者や欠課数の多い学生及び保護者との面談の実施				課外活動		■課外活動の種類 学生技術大会への参加 美容サロン主催コンテストへの参加 ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (2024年度卒業生に関する2025年5月1日時点の情報)																					
就職等の 状況※2		■主な就職先、業界等(2024年度卒業生) 株式会社イーストハム、PrimaPulito株式会社をはじめ岐阜、愛知を中心とした美容室やネイルサロン、トータルビューティサロン ■就職指導内容 就職ガイダンスをはじめとした職業理解授業などの実施、業界専門誌発行会社による履歴書指導、現役美容師、オーナーによる模擬面接指導など ■卒業生数 68 人 ■就職希望者数 67 人 ■就職者数 67 人 ■就職率 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 98.5 % ■その他 (2024 年度卒業生に関する 2025年5月1日 時点の情報)				主な学修成果 (資格・検定等) ※3		<table><tr><th>資格・検定名</th><th>種</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr><tr><td>美容師国家試験受験資格</td><td>②</td><td>68人</td><td>66人</td></tr><tr><td>パーソナルカラー2級</td><td>③</td><td>4人</td><td>3人</td></tr><tr><td>JMA(メイク)2級</td><td>③</td><td>4人</td><td>4人</td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄						資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家試験受験資格	②	68人	66人	パーソナルカラー2級	③	4人	3人	JMA(メイク)2級	③	4人	4人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
美容師国家試験受験資格	②	68人	66人																										
パーソナルカラー2級	③	4人	3人																										
JMA(メイク)2級	③	4人	4人																										
中途退学 の現状		■中途退学者 13 名 2024年4月1日時点において、在学者151名(2023年4月入学者73名 2024年4月入学者78名) 2025年3月31日時点において、在学者138名(2023年4月入学者(2025年3月卒業)67名 2024年4月入学者71名) ■中途退学の主な理由 人間関係、生活リズムの崩れなどによる心身不振や学習意欲低下、進路変更など。				■中退率 8.6 %																							
経済的支援 制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																											
第三者による 学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: 無																											
当該学科の ホームページ URL		https://www.berufort.ac.jp																											

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

授業内容や指導方法等、企業をはじめとする業界の意見を取り入れ、最先端の技術やマナーを身につけられる環境を整備し、社会で必要とされる人物を育成することを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は、学校法人まこと学園理事長の諮問機関としている。学校より実績と改善点や、次年度予定カリキュラム等の説明があり、委員より専門的視点からの意見や助言をいただく。現場(委員)からは業界で即戦力と成り得る人材育成のための業界の最新情報の提供や提案をもらい、教務部長を中心として、より実践的なカリキュラム構築を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2023年8月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
山内 義孝	一般社団法人 カットコミュニケーション協会	2025年4月1日～2027年3月31日	①
角 毅	株式会社イーストハム	2025年4月1日～2027年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、2月頃)

(開催日時(実績))

第1回 2024年10月7日 16:00～17:00

第2回 2025年2月25日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・美容に対する興味を深めるための授業計画・・・美容業に携わる現場スタッフ(美容師、ネイリスト、まつエク等)によるデモンストレーション及び職業講話の実施
- ・授業への興味を高めるための指導方法・・・パワーポイントや動画の活用など視覚に訴える教材や指導の構築
- ・国家試験の重要性を理解させる・・・美容師資格でしかできない仕事についての理解を深める。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

常に消費者と対面している企業、団体等の連携して実習・演習等を行うことにより、より実践的な技術や接客サービス等を修得させる。また消費者のニーズを掴むことを目的に、外部講師による実習を積極的に設け、既存の科目等の授業内容や指導方法の改善を通じ、学生に対して実務に触れる機会を多く提供することで即戦力の育成に資することを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ・美容業界の実務者による最新技術(カラーや撮影)の実習
- ・ディーラーによるウィッグ製造体験

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習	カラー講習等	(株)イーストハム・(株)サムソンSophia・(株)ISMS・(有)TABOO
美容実習	ウィッグ製造	(株)レジーナ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

実践的かつ専門的な能力を育成するためには、外部講師等を招聘し、実習を行うだけでなく、教員の指導力を向上させることも必要だと考える。そのため、学校は教員に対し、学内での勉強会のほか、外部団体等と連携した研修会等を通じて、最新の知識を確認・修得する機会を組織的に提供し、教員としての能力や資質の向上を図ることを方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・研修名「美容教員研修」(連携企業等: SABFA)
 期間: 3月25日～26日 対象: 美容科教員
 内容: 「つけ毛、ヘアピース、ウィッグ作り実習」「デザイン構築」「モデルヘアメイク実習」など

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「授業力の向上」(連携企業等: 株式会社ユーティージー)
 期間: 4月～3月(毎月1～2回) 対象: 教員
 内容: 授業の構築、指導方法、理解度の把握など
 テーマに沿った講義や討議、ロールプレイングなどを定期的実施。

① 専攻分野における実務に関する研修等

専攻分野における実務に関する研修等
 複数の教員による実技指導や学科指導を目的として、日本理容美容教育センターの主催する教員資格認定研修への参加を計画している。

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、学生に対する教職員個々の指導力、カウンセリング力の向上を目的に、専門家を招へいしての勉強会を計画している。また校外で実施されている民間のセミナーを調査し、学生指導に活かせる研修会への参加を計画している。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者、関係業界、関係団体等の学校関係者などから構成された評価委員会が、「学校運営」「教育活動」「学習成果」「学習支援」等の自己評価の結果に基づいて助言や評価を行い、学校と課題を共有し改善することで、学校の「質」の向上を図ることを基本方針とする。

学校長は自己評価結果を教職員に報告、共有し、学校運営や教育活動に反映させる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学習支援
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会から、離職率の高さについて懸念する声が上がった。学校と企業が今後さらに連携して企業実習を行う必要があることを再確認し、カリキュラム編成の見直しを行うこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
山本 照保	山本株式会社	2025年4月1日～2027年3月31日	企業等役員
山本 浩史	セントラルヘアモード職業訓練会	2025年4月1日～2027年3月31日	職業訓練 校会長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL:<http://www.berufort.ac.jp>

公表時期:2025年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と連携して学校運営を行っていくために、当該企業等に対して本校の基本情報を公開し、法令で求められた情報はホームページで公開する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の教育目標、特色、校長名、所在地、連絡先、学校の沿革
(2)各学科等の教育	募集学科、資格取得と主な就職実績
(3)教職員	教職員数・学校組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介、イベント紹介
(6)学生の生活支援	学生の住環境サポート(一人暮らし支援制度)
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、活用できる経済的支援(奨学金、教育ローン)
(8)学校の財務	資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL:<http://www.berufort.ac.jp>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	美容師業務に関する各種法規、制度の種類と内容及び意義を学ぶ。	2年・2・3学期	30	1	○			○			○	
○			衛生管理	美容所における公衆衛生、感染症対策、環境衛生意義と内容、消毒方法などの正しい操作方法について学ぶ。	1通・2通	90	3	○			○		○	○	
○			保健	美容の業務を安全かつ効果的に行うために、人体組織・皮膚とその付属器官、毛髪等に関する正確な化学知識を学ぶ。	1通・2通	90	3	○			○		○	○	
○			香粧品化学	美容の業務と関連して、化学薬品・香粧品等の正しい取扱い、知識を学ぶ。	1通・2通	60	2	○			○			○	
○			文化論	美容文化史、美容における造形・色彩・服飾等の変遷について学ぶ。	1通・2通	60	2	○			○		○		
○			美容技術理論	基礎技術、頭部技術、特殊技術、和装技術を身につける。美容器具の正しい取扱い方法について学ぶ。	1通・2通	150	5	○			○		○		
○			運営管理	経営戦略・経営管理・労務管理の基本理念と美容業における適切な接客について学ぶ。	2通	30	1	○			○		○	○	
○			美容実習	美容器具の正しい取扱い方、美容の基礎について学び、現場の第一線で活躍する技術者から実践的な技術を学ぶ機会を設ける。	1通・2通	900	30				○	○		○	○

○	着付け	浴衣～訪問着までの着付けの技術を学ぶ。	1年1・2学期	30	1	△	○	○	○	○
○	メイクアップ	メイク技術の理論、基礎技術（スキンケア～ポイントメイク）までを学ぶ。	1年1・2学期	45	1.5	△	○	○	○	
○	ビジネスマナー	社会人としての基本的なものの考え方・あいさつ・立ち居振る舞い・「話す」「聞く」態度を身につける。社会の一線で活躍する美容師の話を聞く機会を設ける。	1通・2通	105	3.5	○	△	○	○	○
○	デッサン	デッサンの基礎技術を学ぶ。	1通・2通	60	2	△	○	○		○
○	美容総合技術	ネイルやエステの基礎、実習で学んだ技術のスキルアップ（ヘアアレンジ等）について学ぶ。	1通・2通	150	5	△	○	○	○	
○	検定対策		1年・2学期	30	1	○		○	○	
○	選科		1年2学期1・2・3学期	180	6	△	○	○	○	○
合計			15 科目	2010単位時間(67単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
欠課時間数が履修すべき単位時間数の1割をこえず、期末試験結果が基準以上（100点満点中学科は80点、実技試験は国家試験、検定試験の合格基準を満たしていること）であること。	1 学年の学期区分	3期
	1 学期の授業期間	16週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。